

INTARFRM 資格認定制度 ご紹介

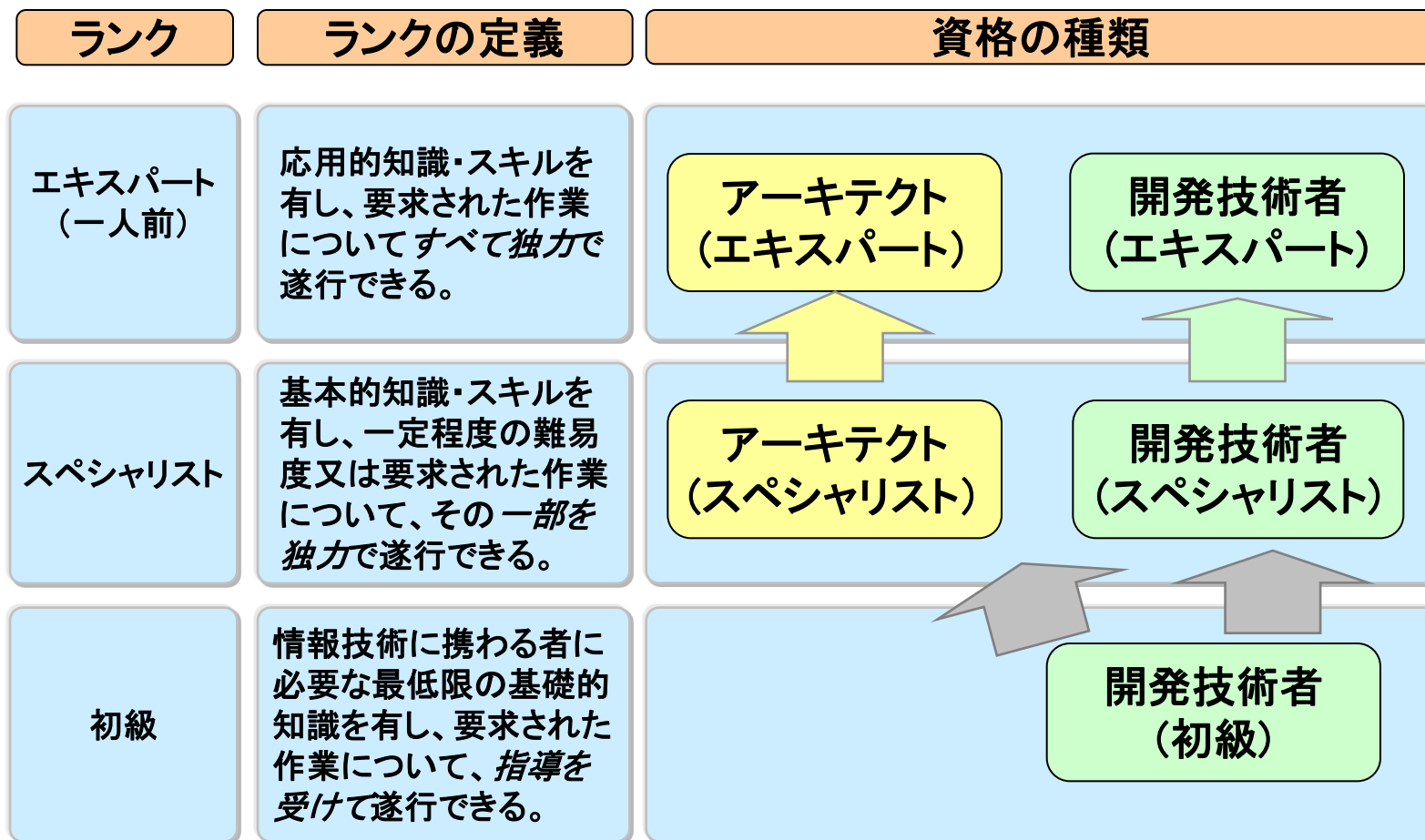
富士通株式会社 SI技術本部
開発技術統括部 INTARFRM推進部

V1.1 2013年9月30日

資格認定概要

■ INTARFRM資格認定は、「技術者認定」とし、2体系で設定する

- ・開発技術者: アプリ開発を担当
- ・アーキテクト: 適用支援を担当



INTARFRM開発技術者の概要

INTARFRMを適用するプロジェクトにおいて、プロジェクトメンバーの一員としてプロジェクトメンバーの指導を行い、アプリケーション構築を責任を持って遂行する人材

	役割	認定条件
エキスパート (一人前)	INTARFRMを適用した開発作業を全て独力で行うことができる。INTARFRM適用プロジェクトにおいて、受託工程に応じた範囲の開発作業をメンバーとともに責任を持って遂行する。	<ul style="list-style-type: none">①開発技術者試験(エキスパート)に合格②実装スキル評価テスト 評価レベル3以上(言語は1種以上)取得③上司の推薦④開発技術者 エキスパート(一人前)レベルに必要なスキルを保有していること
スペシャリスト	INTARFRM適用プロジェクトにおいて、アプリケーション作成(SS-IT)を確実に遂行することができる。	<ul style="list-style-type: none">①INTARFRM設計編に合格、または同等の試験に合格②開発技術者試験(スペシャリスト)に合格③実装スキル評価テスト 評価レベル2以上(言語は1種以上)④上司の推薦⑤開発技術者 スペシャリストレベルに必要なスキルを保有していること
初級	INTARFRM適用プロジェクトにおいて、アプリケーション作成(PS-PT)を指導を受けて担当することができる。	<ul style="list-style-type: none">①INTARFRM設計ツール基礎編またはINTARFRMフレームワーク基礎編(Rapid Edition)に合格、または同等の試験に合格②INTARFRM開発編に合格、または同等の試験に合格 ただし、INTARFRM開発編(List(Batch))は除く

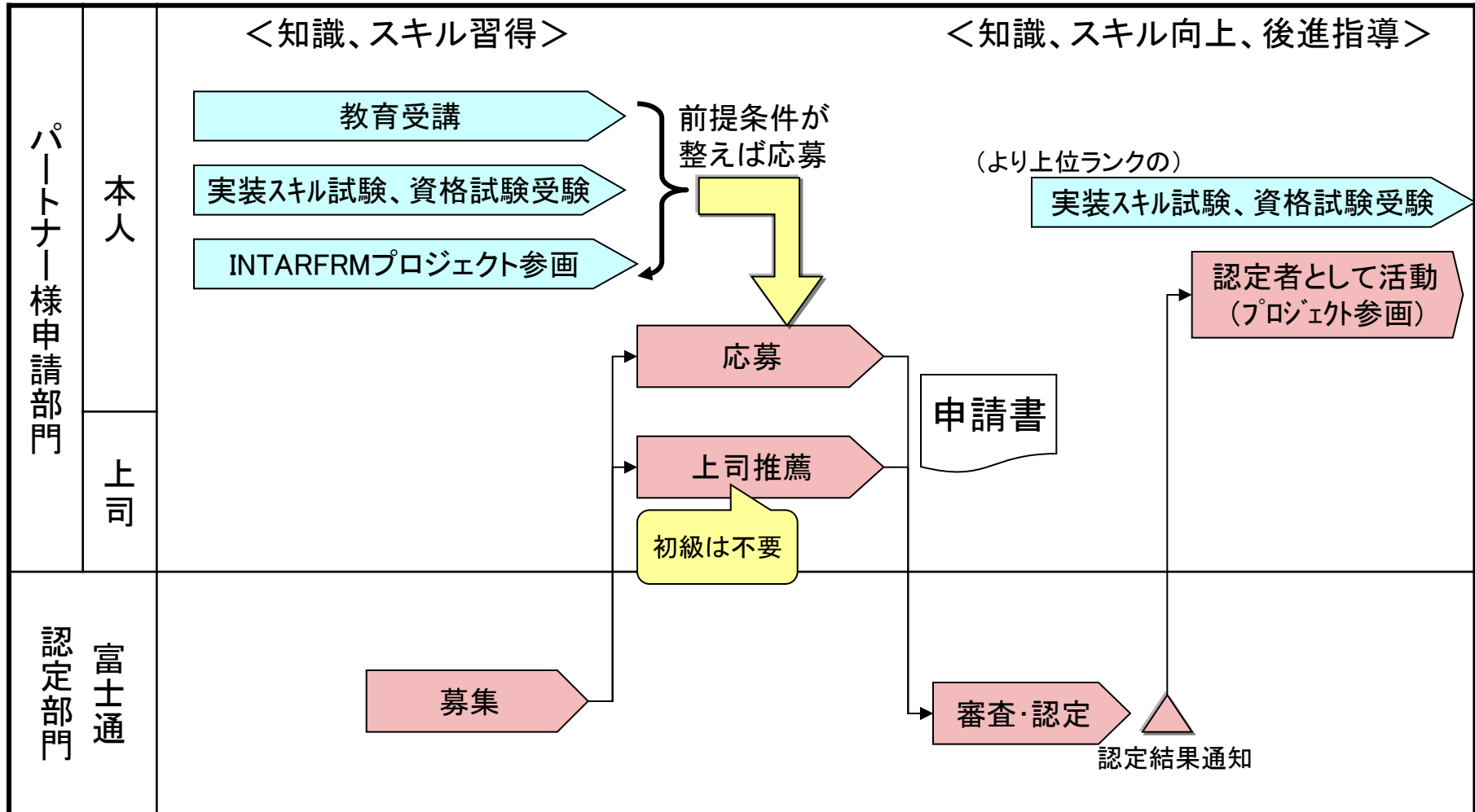
INTARFRMアーキテクトの概要

INTARFRMを適用するプロジェクトにおいて、プロジェクトメンバーの一員もしくはプロジェクトサポートとしてINTARFRM上のアプリケーション構築を推進、もしくは指導する人材

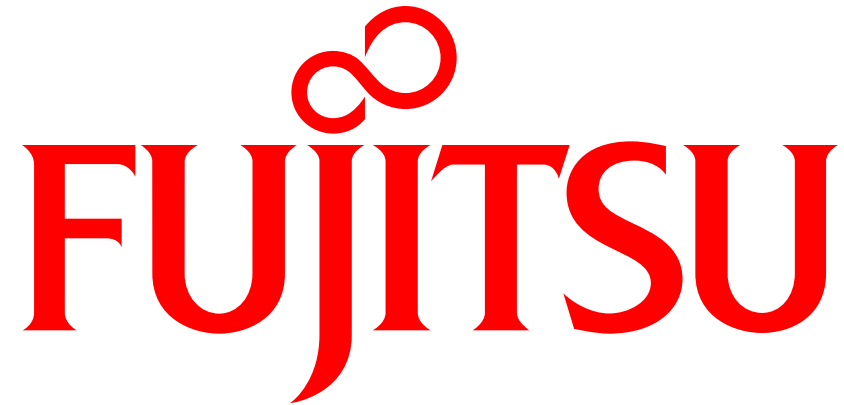
	役割	認定条件
エキスパート (一人前)	INTARFRMを適用したアプリ基盤、開発標準の適用を、全て独力で行うことができる。 INTARFRM適用プロジェクトにおいて、プロジェクトの業務開発メンバーに対して適用指導を行い、アプリ開発の生産性向上、品質向上を推進する。	①アーキテクト試験(エキスパート)に合格 ②実装スキル評価テスト 評価レベル3以上(言語は1種以上)取得 ③上司の推薦 ④アーキテクト エキスパート(一人前)レベルに必要なスキルを保有していること (※)エキスパートの資格認定には有効期限(2年)があります。
スペシャリスト	INTARFRM適用プロジェクトにおいて、開発支援作業を確実に遂行することができる。	①INTARFRM設計ツール管理編および設計編に合格、または同等の試験に合格 ②アーキテクト試験(スペシャリスト)に合格 ③実装スキル評価テスト 評価レベル2以上(言語は1種以上) ④上司の推薦 ⑤アーキテクト スペシャリストレベルに必要なスキルを保有していること

INTARFRM 初級
(INTARFRM開発技術者)

運用イメージ



- 認定結果(会社別資格別認定者数)は、INTARFRMホームページより参照できます。
- QuiQpro認定資格の保有者は、INTARFRM資格認定へ移行しました。



shaping tomorrow with you